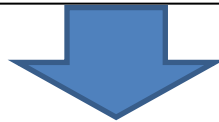


# 水防災意識向上のための普及啓発 大田区

大田区は想定しうる最大規模の降雨による多摩川や呑川等の河川の氾濫や、超大型台風の接近に伴う高潮による被害想定では、大田区内の約6割が浸水し、大きな被害が想定されている、また、土砂災害警戒区域も指定されており、土砂災害の発生も危惧されている。

近年の気象現象の変化に伴い、激甚化している風水害から区民自身が命を守るために「自分の逃げ方」として、「マイ・タイムライン」を策定しておくことは非常に有効であるため、出水期前を捉え普及啓発していく。



## マイ・タイムライン講習会を実施

### 1 全区民向け対象講習会

- (1) 「マイ・タイムライン」の考え方や必要性を広く区民に理解してもらう。
- (2) 近年の風水害の状況や、災害の発生リスク、気象情報や避難情報の収集情報を学びながら、自分自身の家族状況や生活環境に合わせた「マイ・タイムライン」を作成する。

■日 時 令和元年5月25日(土)

■会 場 日本工学院専門学校蒲田キャンパス片柳記念ホール

■講 師 山神 明理(やまがみ あかり)気象予報士／防災士

# 当日の会場の様子

会場：日本工学院蒲田キャンパス 参加者：170名



気象キャスターの目線から最近の気象災害について説明



参加者に  
マイ・タイムラインシートの  
説明をする山神講師  
(お天気キャスター・気象予報士)

## 2 各特別出張所別講習会

特別出張所単位での講習会ではグループワークにより住民同士が地域の災害リスクを認識したうえで、地域特性に応じたマイ・タイムラインを作成してもらう。参加者同士がコミュニケーションをとることで共助体制も構築される。

■対象者 18特別出張所管内の区民

■日程等 令和元年6月1日(土)から令和元年8月3日(土)

## 3 区職員向け講習会

職員自らがマイ・タイムラインについて理解・体験し、特別出張所単位で実施する講習会や防災講話の機会を活用してマイ・タイムラインの普及啓発を図る。

■日 時 令和元年5月13日(月)、14日(火) (職員約200名参加)

■対 象 防災危機管理課、特別出張所、福祉部他、災対各部職員

